

まちな話題が満載！ Town News まちな出来事



「ほしのゆめ」新米キャンペーン開催

東川で収穫された新米を周辺地域に住む方々にいち早く食べてもらおうと、JAUHがしかね、東川町商工会、東川町観光協会、東川町共催による東川産「ほしのゆめ」新米キャンペーンが9月19日農村環境改善センター駐車場で開催されました。

昨年は町民向けとして実施しましたが町外の方からの購入希望も多く、今年は広く東川のおいしいお米を食べていただくため販売対象を拡大した結果、雨まじりの天候にもかかわらず約2,500人の方に来場いただきました。予約者には新鮮野菜セットと温泉無料入浴券が配られるという特典もあり、予約件数は昨年を大幅に越え、予約分と当日販売分を含め16・67トンの新米をお買い求めいただきました。

会場内では様々なイベントが開催され、小学生以下を対象にしたもちまき大会では1俵(1,500個)の餅がまかれ、参加した200人程のちびっ子たちは元気いっぱいに餅ひろいを楽しんでいました。また、新米のおにぎりや米粉で作られたお菓子やパンの即売も完売となる盛況ぶりでした。

イベントの最後には、米粉商品セットや旭岳・天人峡温泉無料宿泊券が当たる大抽選会が開催され、会場は終始にぎやかな雰囲気になっていました。



美しい風景づくり賞決定

美しい風景づくりへの関心を高めるため、町民の皆さんを対象に、美しい風景づくりに貢献していると思われる住宅や活動、自然環境の保全活動などを募集したところ、個人・事業者の部合わせて20件の応募があり、町では美しい東川の風景を守り育てる審議会(会長・越澤明北大大学院教授他10名)の審査を経て次のとおり受賞者が決定し、9月16日に役場大会議室において表彰式を行いました。

表彰式には町議会議員や審議会の委員など約30名が集まり、受賞された方々の自宅の写真を見入っていました。受賞された方々は、「町から表彰してもらえると光栄です。これからも頑張ります。」と話していました。

入選(個人の部)
山口定一さん(西7号北31)
伴海靖之さん(西町8丁目9-6)
早坂佳明さん(東8号北3)
入選(事業者の部)
北の住まい設計社(東7号北7線)



東川町初の快挙！松田与一氏が「北海道文化賞」受賞

農民彫刻家の松田与一氏(西7北27・80歳)が「北海道文化賞」を受賞されました。北海道文化賞は、北海道の芸術・科学・教育・その他の文化の向上発展に関し、特に業績の顕著な方または団体を表彰するものです。



松田氏は、昭和23年にシベリアから復員後、現在地で農業を営む傍ら、絵画・彫刻・写真等を独学で学び、北海道の開拓に奮闘する開拓者、農民、農婦、農耕馬などをテーマに数多くの作品を制作し、これまで、新口マン派美術展、全道展、道展、日展、日彫展などで数多くの入選を果しており、その作品の一部は、地元東川のみならず、上川支庁合同庁舎を始めとして道内の学校や文化ホールなど多くの公共施設に展示されています。また、氷彫刻の分野においても、東川氷土会発足の原動力となり、日本初の氷彫刻作家として海外にまで技術指導に赴き、現在の世界的な氷彫刻の発展と普及に多大な貢献を果してきました。

贈呈式は、11月5日(金)に札幌市で行われる予定です。

ジュニアゴルフスクール開講

7月28日、町内の小中学生を対象にジュニアスポーツの振興とゴルフへの参加意欲の啓発を目的とした第1回ジュニアゴルフスクールが、東川ジュニアゴルフ育成会主催によりコート旭川カントリークラブで行われました。

全10回の講習には、小学5年生から中学2年生までの6名が参加し、ゴルフ場の協力により道内外のプロゴルファーや道ゴルフ連盟ジュニア育成部役員等が講師となり、ルールやマナー、実践ラウンドまでの基本的なレッスンが行われました。



終盤のラウンドレッスンでは、来場していたプロゴルファーの中嶋常幸プロから、大きな声であいさつ・大股での歩行などゴルフの基本を聞き、またサインや写真撮影をさせてもらい、子供達もゴルフへの意欲をふくらませていました。東川ジュニアゴルフ育成会では、将来に向けてジュニアゴルフスクールの継続開催を考えているそうです。

興味のある方は、東川ジュニアゴルフ育成会事務局(改善センター内) ☎82-3200 担当：山下まで。

「救急の日」講習会

東川消防署では、9月9日「救急の日」に救急講習会を開催し、一般の町民や町内の事業所から47名の方々が受講しました。



当日は上川郡中央医師会の、ぴっぷくりニツク院長 加藤一哉先生が講師を勤め、救急治療についてと題して、心肺蘇生法の必要性と手順について、スライドを交えて分かりやすく講演され、事故や病気で倒れた人を救えるのは、目の前にいるあなたですと話し、参加者は応急手当の必要性を実感していました。

続いて、消防職員の指導で心肺蘇生法と止血法、雑誌を用いて骨折箇所を固定する方法など2班に分かれて実技を行い、とっさの時の対応について真剣な表情で学んでいました。